

表22 木酢A社蒸留液の試験結果（本試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	161 152 151 145 151 (152)	(#####)	(#####)	22 15 26 26 26 (23)	(#####)	
	3.1	142 139 (141)	(#####)	(#####)	17 18 (18)	(#####)	
	6.3	142 146 (144)	(#####)	(#####)	23 15 (19)	(#####)	
	12.5	149 146 (148)	(#####)	(#####)	22 24 (23)	(#####)	
	25.0	164 181 (173)	(#####)	(#####)	30 34 (32)	(#####)	
	50.0	187 184 (186)	(#####)	(#####)	29 36 (33)	(#####)	
	100.0	186 204 (195)	(#####)	(#####)	31 27 (29)	(#####)	
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	131 140 141 139 144 (139)	(#####)	(#####)	30 33 30 40 30 (33)	(#####)
3.1		139 154 (147)	(#####)	(#####)	27 33 (30)	(#####)	
6.3		148 138 (143)	(#####)	(#####)	37 32 (35)	(#####)	
12.5		163 167 (165)	(#####)	(#####)	40 33 (37)	(#####)	
25.0		165 178 (172)	(#####)	(#####)	41 31 (36)	(#####)	
50.0		184 183 (184)	(#####)	(#####)	35 35 (35)	(#####)	
100.0		200 209 (205)	(#####)	(#####)	41 40 (41)	(#####)	
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80	
	コロニー数/プレート	596 600 (598)	(#####)	(#####)	348 421 (385)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
	コロニー数/プレート	1136 1474 (1305)	(#####)	(#####)	396 355 (376)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、
NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表23 木酢A社蒸留液の試験結果（確認試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	108 115 106 105 119 111 (111)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	25.0	124 106 106 (112)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	37.5	125 120 129 (125)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	50.0	135 130 137 (134)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	75.0	145 145 149 (146)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	100.0	176 183 209 (189)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	112 119 128 122 120 120 (120)	(#####)	(#####)	(#####)
25.0		119 124 107 (117)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
37.5		118 145 133 (132)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
50.0		140 135 138 (138)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
75.0		120 143 140 (134)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
100.0		188 180 178 (182)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	650 635 (643)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.20~2004.2.23				
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
	コロニー数/プレート	1244 1016 (1130)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.20~2004.2.23				

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(###)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表24 木酢B社蒸留液の試験結果（用量設定試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	131 160 160 142 161 (151)	(#####)	(#####)	24 25 26 25 19 (24)	(#####)	
	0.02	133 154 (144)	(#####)	(#####)	27 22 (25)	(#####)	
	0.1	139 146 (143)	(#####)	(#####)	27 20 (24)	(#####)	
	0.4	158 148 (153)	(#####)	(#####)	30 28 (29)	(#####)	
	1.6	168 149 (159)	(#####)	(#####)	20 26 (23)	(#####)	
	6.3	180 167 (174)	(#####)	(#####)	32 34 (33)	(#####)	
	25.0	200 201 (201)	(#####)	(#####)	32 29 (31)	(#####)	
	100.0	75 87 (81)	(#####)	(#####)	17 17 (17)	(#####)	
S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	149 154 155 141 141 (148)	(#####)	(#####)	38 34 36 37 31 (35)	(#####)	
	0.02	149 155 (152)	(#####)	(#####)	31 31 (31)	(#####)	
	0.1	160 152 (156)	(#####)	(#####)	29 47 (38)	(#####)	
	0.4	128 167 (148)	(#####)	(#####)	36 33 (35)	(#####)	
	1.6	153 152 (153)	(#####)	(#####)	29 30 (30)	(#####)	
	6.3	171 169 (170)	(#####)	(#####)	31 34 (33)	(#####)	
	25.0	214 172 (193)	(#####)	(#####)	46 43 (45)	(#####)	
	100.0 \$	233 168 (201)	(#####)	(#####)	39 28 (34)	(#####)	
陽性対照	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA	
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80	
	コロニー数/プレート	804 788 (796)	(#####)	(#####)	492 484 (488)	(#####)	
	試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17			2003.11.14~2003.11.17		
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
	コロニー数/プレート	1500 1336 (1418)	(#####)	(#####)	337 331 (334)	(#####)	
	試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17			2003.11.14~2003.11.17		

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表25 木酢B社蒸留液の試験結果（本試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2 $uvrA$ /pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	161 152 151 145 151 (152)	(#####)	(#####)	22 15 26 26 26 (23)	(#####)	
	3.1	150 139 (145)	(#####)	(#####)	15 23 (19)	(#####)	
	6.3	144 155 (150)	(#####)	(#####)	21 21 (21)	(#####)	
	12.5	177 155 (166)	(#####)	(#####)	18 23 (21)	(#####)	
	25.0	202 202 (202)	(#####)	(#####)	17 21 (19)	(#####)	
	50.0	235 209 (222)	(#####)	(#####)	29 30 (30)	(#####)	
	100.0	83 87 (85)	(#####)	(#####)	7 * 11 * (9 *)	(#####)	
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	131 140 141 139 144 (139)	(#####)	(#####)	30 33 30 40 30 (33)	(#####)
3.1		146 138 (142)	(#####)	(#####)	39 41 (40)	(#####)	
6.3		133 146 (140)	(#####)	(#####)	34 32 (33)	(#####)	
12.5		143 157 (150)	(#####)	(#####)	26 38 (32)	(#####)	
25.0		168 186 (177)	(#####)	(#####)	45 35 (40)	(#####)	
50.0		193 200 (197)	(#####)	(#####)	32 29 (31)	(#####)	
100.0 \$		122 111 (117)	(#####)	(#####)	40 35 (38)	(#####)	
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	S9mixを必要としないもの 用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80	
	コロニー数/プレート	596 600 (598)	(#####)	(#####)	348 421 (385)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8		2003.12.5~2003.12.8			
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	S9mixを必要とするもの 用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
	コロニー数/プレート	1136 1474 (1305)	(#####)	(#####)	396 355 (376)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8		2003.12.5~2003.12.8			

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(#####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、
NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表26 木酢B社蒸留液の試験結果（確認試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	108 115 106 105 119 111 (111)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	25.0	114 108 111 (111)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	37.5	130 136 142 (136)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	50.0	173 187 197 (186)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	75.0	165 133 179 (159)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	100.0	60 66 74 (67)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	112 119 128 122 120 120 (120)	(#####)	(#####)	(#####)
25.0		111 123 116 (117)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
37.5		136 138 159 (144)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
50.0		186 200 188 (191)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
75.0 \$		204 226 235 (222)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
100.0 \$		103 109 96 (103)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/ プレート	650 635 (643)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.20~2004.2.23				
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
	コロニー数/ プレート	1244 1016 (1130)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.20~2004.2.23				

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2:2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃:ナトリウム・アジド、9AA:9-アミノアクリジン、2AA:2-アミノアントラセン

表27 木酢C社蒸留液の試験結果（用量設定試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	131 160 160 142 161 (151)	(#####)	(#####)	24 25 26 25 19 (24)	(#####)	
	0.02	139 129 (134)	(#####)	(#####)	28 22 (25)	(#####)	
	0.1	145 159 (152)	(#####)	(#####)	22 35 (29)	(#####)	
	0.4	163 141 (152)	(#####)	(#####)	26 22 (24)	(#####)	
	1.6	187 145 (166)	(#####)	(#####)	39 19 (29)	(#####)	
	6.3	216 201 (209)	(#####)	(#####)	28 27 (28)	(#####)	
	25.0	401 412 (407)	(#####)	(#####)	45 40 (43)	(#####)	
	100.0	0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	149 154 155 141 141 (148)	(#####)	(#####)	38 34 36 37 31 (35)	(#####)
0.02		141 140 (141)	(#####)	(#####)	26 35 (31)	(#####)	
0.1		156 160 (158)	(#####)	(#####)	31 33 (32)	(#####)	
0.4		168 166 (167)	(#####)	(#####)	28 40 (34)	(#####)	
1.6		167 192 (180)	(#####)	(#####)	29 33 (31)	(#####)	
6.3		206 207 (207)	(#####)	(#####)	39 35 (37)	(#####)	
25.0		264 275 (270)	(#####)	(#####)	46 59 (53)	(#####)	
100.0 \$		44 * 49 * (47*)	(#####)	(#####)	12 17 (15)	(#####)	
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80	
	コロニー数/プレート	804 788 (796)	(#####)	(#####)	492 484 (488)	(#####)	
	試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17			2003.11.14~2003.11.17		
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
コロニー数/プレート	1500 1336 (1418)	(#####)	(#####)	337 331 (334)	(#####)		
試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17			2003.11.14~2003.11.17			

【備考】

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表28 木酢C社蒸留液の試験結果（本試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	161 152 151 145 151 (152)	(#####)	(#####)	22 15 26 26 26 (23)	(#####)	
	3.1	148 166 (157)	(#####)	(#####)	18 29 (24)	(#####)	
	6.3	179 183 (181)	(#####)	(#####)	25 35 (30)	(#####)	
	12.5	241 242 (242)	(#####)	(#####)	22 33 (28)	(#####)	
	25.0	169 119 (119)	(#####)	(#####)	36 31 (34)	(#####)	
	50.0	134 158 (146)	(#####)	(#####)	18 17 (18)	(#####)	
	100.0	0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	131 140 141 139 144 (139)	(#####)	(#####)	30 33 30 40 30 (33)	(#####)
3.1		138 160 (149)	(#####)	(#####)	37 29 (33)	(#####)	
6.3		168 166 (167)	(#####)	(#####)	35 33 (34)	(#####)	
12.5		184 189 (187)	(#####)	(#####)	31 40 (36)	(#####)	
25.0		201 224 (213)	(#####)	(#####)	32 35 (34)	(#####)	
50.0 \$		119 257 (259)	(#####)	(#####)	39 52 (46)	(#####)	
100.0 \$		56 * 72 * (64*)	(#####)	(#####)	7 * 13 * (10*)	(#####)	
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	S9mixを必要としないもの 用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80	
	コロニー数/プレート	596 600 (598)	(#####)	(#####)	348 421 (385)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	S9mixを必要とするもの 用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
	コロニー数/プレート	1136 1474 (1305)	(#####)	(#####)	396 355 (376)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		

【備考】

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、
NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表29 木酢C社蒸留液の試験結果（確認試験-1）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	95 128 107 108 107 119 (111)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	9.4	172 155 (164)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	12.5	237 227 (232)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	18.8	289 255 (272)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	25.0	296 283 (287)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	37.5	246 270 (274)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	50.0	161 155 (158)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	119 115 131 105 131 117 (120)	(#####)	(#####)	(#####)
12.5		133 127 (130)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
18.8		200 178 (189)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
25.0		225 191 (208)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
37.5		254 251 (253)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
50.0 \$		207 203 (205)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
75.0 \$		117 123 (120)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2
	S9mixを必要としないもの 用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	529 501 (515)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.6~2004.2.9				
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	S9mixを必要とするもの 用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
	コロニー数/プレート	1366 1021 (1194)	(#####)	1740 (1740)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.6~2004.2.9				

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2:2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、
NaN₃:ナトリウム・アジド、9AA:9-アミノアクリジン、2AA:2-アミノアントラセン

表30 木酢C社蒸留液の試験結果（確認試験-2）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	108 115 106 105 119 111 (111)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	9.4	163 157 161 (160)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	12.5	166 201 190 (186)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	18.8	187 233 220 (213)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	25.0	237 276 241 (235)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	37.5	279 241 259 (258)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	50.0	173 143 173 (163)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	112 119 128 122 120 120 (120)	(#####)	(#####)	(#####)
12.5		113 117 120 (117)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
18.8		154 184 144 (161)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
25.0		179 207 186 (191)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
37.5		269 243 257 (29)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
50.0 \$		226 185 199 (203)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
75.0 \$		89* 69* 85* (81*)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	650 635 (643)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.20~2004.2.23				
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
	コロニー数/プレート	1244 1016 (1130)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.20~2004.2.23				

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表31 木酢A社原液の試験結果（用量設定試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)											
		塩基対置換型					フレームシフト型						
		TA100			TA1535		WP2uvrA/pKM101	TA98			TA1537		
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	131	160	160				24	25	26			
		142	161	(151)	(#####)	(#####)	(#####)	25	19	(24)	(#####)	(#####)	
	0.02	144						20					
		149		(147)	(#####)	(#####)	(#####)	22		(21)	(#####)	(#####)	
	0.1	153						21					
		146		(150)	(#####)	(#####)	(#####)	24		(23)	(#####)	(#####)	
	0.4	147						35					
		173		(160)	(#####)	(#####)	(#####)	19		(27)	(#####)	(#####)	
	1.6	202						32					
	222		(212)	(#####)	(#####)	(#####)	21		(27)	(#####)	(#####)		
6.3	512						27						
	525		(519)	(#####)	(#####)	(#####)	16		(22)	(#####)	(#####)		
25.0	147						23						
	166		(157)	(#####)	(#####)	(#####)	23		(23)	(#####)	(#####)		
100.0	0 *						0 *						
	0 *		(0*)	(#####)	(#####)	(#####)	0 *		(0*)	(#####)	(#####)		
S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	149	154	155				38	34	36			
		141	141	(148)	(#####)	(#####)	(#####)	37	31	(35)	(#####)	(#####)	
	0.02	130						35					
		143		(137)	(#####)	(#####)	(#####)	29		(32)	(#####)	(#####)	
	0.1	151						34					
		157		(154)	(#####)	(#####)	(#####)	40		(37)	(#####)	(#####)	
	0.4	166						37					
		159		(163)	(#####)	(#####)	(#####)	42		(40)	(#####)	(#####)	
	1.6	187						38					
	182		(185)	(#####)	(#####)	(#####)	37		(38)	(#####)	(#####)		
6.3	225						45						
	202		(214)	(#####)	(#####)	(#####)	46		(46)	(#####)	(#####)		
25.0	354						51						
	306		(315)	(#####)	(#####)	(#####)	42		(47)	(#####)	(#####)		
100.0 \$	0 *						0 *						
	0 *		(0*)	(#####)	(#####)	(#####)	0 *		(0*)	(#####)	(#####)		
陽性対照	名称	AF-2			NaN ₃		AF-2	AF-2			9AA		
	用量(μg/プレート)	0.01			0.5		0.005	0.1			80		
	コロニー数/プレート	804						492					
		788			(796)		(#####)	484			(488)		
	試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17						2003.11.14~2003.11.17					
	名称	2AA			2AA		2AA	2AA			2AA		
用量(μg/プレート)	1			2		2	0.5			2			
コロニー数/プレート	1500						337						
	1336			(1418)		(#####)	331			(334)			
試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17						2003.11.14~2003.11.17						

【備考】

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(#####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■■■■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表32 木酢A社原液の試験結果（本試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	161 152 151 145 151 (152)	(#####)	(#####)	22 15 26 26 26 (23)	(#####)	
	1.6	127 131 (129)	(#####)	(#####)	27 29 (28)	(#####)	
	3.1	197 200 (199)	(#####)	(#####)	24 34 (29)	(#####)	
	6.3	357 341 (354)	(#####)	(#####)	19 20 (20)	(#####)	
	12.5	449 419 (454)	(#####)	(#####)	19 18 (19)	(#####)	
	25.0	197 159 (178)	(#####)	(#####)	21 19 (20)	(#####)	
	50.0	0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	131 140 141 139 144 (139)	(#####)	(#####)	30 33 30 40 30 (33)	(#####)
1.6		142 165 (154)	(#####)	(#####)	33 41 (37)	(#####)	
3.1		175 192 (184)	(#####)	(#####)	40 26 (33)	(#####)	
6.3		195 180 (188)	(#####)	(#####)	36 29 (33)	(#####)	
12.5		222 243 (233)	(#####)	(#####)	36 33 (35)	(#####)	
25.0		300 292 (291)	(#####)	(#####)	33 46 (40)	(#####)	
50.0 \$		452 401 (477)	(#####)	(#####)	50 48 (49)	(#####)	
100.0 \$		0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
陽性対照	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA	
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80	
	コロニー数/プレート	596 600 (598)	(#####)	(#####)	348 421 (385)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
	コロニー数/プレート	1136 1474 (1305)	(#####)	(#####)	396 355 (376)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に * 印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■ 印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表33 木酢A社原液の試験結果（確認試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	95 128 107 108 107 119 (111)	(####)	(####)	(####)	(####)
	3.8	122 154 (138)	(####)	(####)	(####)	(####)
	5.0	220 213 (217)	(####)	(####)	(####)	(####)
	7.5	204 124 (308)	(####)	(####)	(####)	(####)
	10.0	253 244 (239)	(####)	(####)	(####)	(####)
	15.0	215 217 (216)	(####)	(####)	(####)	(####)
	20.0	155 141 (148)	(####)	(####)	(####)	(####)
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	119 115 131 105 131 117 (120)	(####)	(####)	(####)
15.0		237 220 (229)	(####)	(####)	(####)	(####)
20.0		204 26 (272)	(####)	(####)	(####)	(####)
30.0		306 204 (295)	(####)	(####)	(####)	(####)
40.0		260 403 (366)	(####)	(####)	(####)	(####)
60.0 \$		273 200 (261)	(####)	(####)	(####)	(####)
80.0 \$		0 * 0 * (0*)	(####)	(####)	(####)	(####)
陽性対照	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	529 501 (515)	(####)	(####)	(####)	(####)
	試験実施期間	2004.2.6~2004.2.9				
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
	コロニー数/プレート	1366 1021 (1194)	(####)	(####)	(####)	(####)
	試験実施期間	2004.2.6~2004.2.9				
	S9mixを必要としないもの					
	S9mixを必要とするもの					

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2:2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、
NaN₃:ナトリウム・アジド、9AA:9-アミノアクリジン、2AA:2-アミノアントラセン

表34 木酢B社原液の試験結果 (用量設定試験)

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	131 160 160 142 161 (151)	(#####)	(#####)	24 25 26 25 19 (24)	(#####)	
	0.02	143 146 (145)	(#####)	(#####)	31 24 (28)	(#####)	
	0.1	143 146 (145)	(#####)	(#####)	30 26 (28)	(#####)	
	0.4	173 180 (177)	(#####)	(#####)	32 37 (35)	(#####)	
	1.6	559 559 (596)	(#####)	(#####)	49 49 (49)	(#####)	
	6.3	526 397 (468)	(#####)	(#####)	24 20 (22)	(#####)	
	25.0	15 * 83 * (49*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
	100.0 \$	0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	149 154 155 141 141 (148)	(#####)	(#####)	38 34 36 37 31 (35)	(#####)
		0.02	141 141 (141)	(#####)	(#####)	27 29 (28)	(#####)
0.1		148 144 (146)	(#####)	(#####)	33 30 (32)	(#####)	
0.4		170 171 (171)	(#####)	(#####)	32 36 (34)	(#####)	
1.6		205 215 (210)	(#####)	(#####)	34 36 (35)	(#####)	
6.3 \$		422 414 (418)	(#####)	(#####)	59 70 (65)	(#####)	
25.0 \$		167 154 (161)	(#####)	(#####)	18 17 (18)	(#####)	
100.0 \$		0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
		用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	804 788 (796)	(#####)	(#####)	492 484 (488)	(#####)	
	試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17			2003.11.14~2003.11.17		
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
コロニー数/プレート	1500 1336 (1418)	(#####)	(#####)	337 331 (334)	(#####)		
試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17			2003.11.14~2003.11.17			

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表35 木酢B社原液の試験結果（本試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	161 152 151 145 151 (152)	(#####)	(#####)	22 15 26 26 26 (23)	(#####)	
	0.8	152 165 (159)	(#####)	(#####)	22 17 (20)	(#####)	
	1.6	305 246 (323)	(#####)	(#####)	24 27 (26)	(#####)	
	3.1	1025 889 (997)	(#####)	(#####)	26 23 (25)	(#####)	
	6.3	1057 1416 (1237)	(#####)	(#####)	17 11 (14)	(#####)	
	12.5	132 * 128 * (130*)	(#####)	(#####)	23 20 (22)	(#####)	
	25.0	0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	2 * 0 * (1*)	(#####)	
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	131 140 141 139 144 (139)	(#####)	(#####)	30 33 30 40 30 (33)	(#####)
1.6		224 213 (219)	(#####)	(#####)	30 34 (32)	(#####)	
3.1		244 242 (243)	(#####)	(#####)	40 40 (40)	(#####)	
6.3 \$		355 243 (348)	(#####)	(#####)	65 40 (53)	(#####)	
12.5 \$		622 608 (614)	(#####)	(#####)	62 61 (62)	(#####)	
25.0 \$		271 250 (261)	(#####)	(#####)	32 32 (32)	(#####)	
50.0 \$		0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
100.0 \$		0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)	
陽性対照	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA	
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80	
	コロニー数/ プレート	596 600 (598)	(#####)	(#####)	348 421 (385)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA	
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2	
	コロニー数/ プレート	1136 1474 (1305)	(#####)	(#####)	396 355 (376)	(#####)	
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8		

【備考】

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(#####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表36 木酢B社原液の試験結果（確認試験-1）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)					
		塩基対置換型			フレームシフト型		
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537	
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	95 128 107 108 107 119 (111)	(#####)	(#####)	13 21 29 15 28 20 (21)	(#####)	
	0.9	(#####)	(#####)	(#####)	19 22 24 (22)	(#####)	
	1.3	(#####)	(#####)	(#####)	25 24 27 (25)	(#####)	
	1.6	(#####)	(#####)	(#####)	28 19 19 (22)	(#####)	
	1.9	(#####)	(#####)	(#####)	19 19 25 (21)	(#####)	
	2.5	432 446 (439)	(#####)	(#####)	21 28 19 (23)	(#####)	
	3.8	696 576 (616)	(#####)	(#####)	16 16 16 (16)	(#####)	
	5.0	957 675 (931)	(#####)	(#####)	16 18 26 (20)	(#####)	
	7.5	1044 1000 (1057)	(#####)	(#####)	16 17 15 (16)	(#####)	
	10.0	1074 976 (1026)	(#####)	(#####)	13 12 14 (13)	(#####)	
S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	119 115 131 105 131 117 (120)	(#####)	(#####)	26 26 30 28 27 28 (28)	(#####)	
	5.0	(#####)	(#####)	(#####)	22 40 23 (28)	(#####)	
	7.5	326 356 (356)	(#####)	(#####)	37 34 33 (35)	(#####)	
	10.0	455 501 (483)	(#####)	(#####)	30 41 38 (36)	(#####)	
	15.0	733 636 (686)	(#####)	(#####)	23 43 52 (39)	(#####)	
	20.0	280 244 (252)	(#####)	(#####)	35 29 31 (32)	(#####)	
	30.0	219 168 (194)	(#####)	(#####)	27 18 22 (22)	(#####)	
	陽性対照	S9mixを必要としないもの	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2
用量(μg/プレート)			0.01	0.5	0.005	0.1	80
コロニー数/プレート			529 501 (515)	(#####)	(#####)	413 447 (430)	(#####)
試験実施期間			2004.2.6~2004.2.9			2004.2.10~2004.2.12	
S9mixを必要とするもの		名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
		用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
		コロニー数/プレート	1366 1021 (1194)	(#####)	(#####)	284 318 (301)	(#####)
		試験実施期間	2004.2.6~2004.2.9			2004.2.10~2004.2.12	

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表37 木酢B社原液の試験結果（確認試験-2）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	(####)	(####)	(####)	22 24 18 19 21 20 (21)	(####)
	1.0	(####)	(####)	(####)	26 26 (26)	(####)
	1.2	(####)	(####)	(####)	24 17 (21)	(####)
	1.6	(####)	(####)	(####)	30 16 (23)	(####)
	2.0	(####)	(####)	(####)	22 33 (28)	(####)
	3.0	(####)	(####)	(####)	29 23 (26)	(####)
S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	(####)	(####)	(####)	(####)	(####)
	5.0	(####)	(####)	(####)	(####)	(####)
	7.5	(####)	(####)	(####)	(####)	(####)
	10.0	(####)	(####)	(####)	(####)	(####)
	15.0	(####)	(####)	(####)	(####)	(####)
	20.0	(####)	(####)	(####)	(####)	(####)
陽性対照	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	S9mixを必要としないもの 用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	(####)	(####)	(####)	415 447 (431)	(####)
	試験実施期間				2004.2.13~2004.2.16	
	S9mixを必要とするもの 名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
コロニー数/プレート	(####)	(####)	(####)	(####)	(####)	
試験実施期間						

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2:2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、
NaN₃:ナトリウム・アジド、9AA:9-アミノアクリジン、2AA:2-アミノアントラセン

表38 木酢C社原液の試験結果（用量設定試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)											
		塩基対置換型					フレームシフト型						
		TA100		TA1535		WP2uvrA/pKM101	TA98		TA1537				
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	131	160	160				24	25	26			
		142	161	(151)	(#####)	(#####)		25	19	(24)		(#####)	
	0.02	158						33					
		143	(151)		(#####)	(#####)		23	(28)		(#####)		
	0.1	158						33					
		166	(162)		(#####)	(#####)		31	(32)		(#####)		
	0.4	207						31					
		193	(200)		(#####)	(#####)		32	(32)		(#####)		
	1.6	789 893	(848)		(#####)	(#####)		42 40	(44)		(#####)		
	6.3	1207 1238	(1218)		(#####)	(#####)		18 13	(16)		(#####)		
25.0	0 *						0 *						
	0 *	(0*)		(#####)	(#####)		0 *	(0*)		(#####)			
100.0 \$	0 *						0 *						
	0 *	(0*)		(#####)	(#####)		0 *	(0*)		(#####)			
S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	149	154	155				38	34	36			
		141	141	(148)	(#####)	(#####)		37	31	(35)		(#####)	
	0.02	150						30					
		146	(148)		(#####)	(#####)		33	(32)		(#####)		
	0.1	172						32					
		157	(165)		(#####)	(#####)		35	(34)		(#####)		
	0.4	215						45					
		179	(197)		(#####)	(#####)		57	(51)		(#####)		
	1.6	235						39					
		241	(238)		(#####)	(#####)		33	(36)		(#####)		
6.3	606 644	(573)		(#####)	(#####)		52 49	(51)		(#####)			
25.0 \$	59 *						5 *						
	47 *	(53*)		(#####)	(#####)		7 *	(6*)		(#####)			
100.0 \$	0 *						0 *						
	0 *	(0*)		(#####)	(#####)		0 *	(0*)		(#####)			
陽性対照	名称	AF-2		NaN ₃	AF-2		AF-2		9AA				
	用量(μg/プレート)	0.01		0.5	0.005		0.1		80				
	コロニー数/プレート	804					492						
		788 (796)		(#####)	(#####)		484 (488)		(#####)				
	試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17					2003.11.14~2003.11.17						
	名称	2AA		2AA	2AA		2AA		2AA				
	用量(μg/プレート)	1		2	2		0.5		2				
	コロニー数/プレート	1500					337						
	1336 (1418)		(#####)	(#####)		331 (334)		(#####)					
試験実施期間	2003.11.14~2003.11.17					2003.11.14~2003.11.17							

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2:2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃:ナトリウム・アジド、9AA:9-アミノアクリジン、2AA:2-アミノアントラセン

表39 木酢C社原液の試験結果（本試験）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)						
		塩基対置換型			フレームシフト型			
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537		
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	161 152 151 145 151 (152)	(#####)	(#####)	22 15 26 26 26 (23)	(#####)		
	0.4	169 144 (157)	(#####)	(#####)	27 27 (27)	(#####)		
	0.8	194 193 (194)	(#####)	(#####)	28 26 (27)	(#####)		
	1.6	199 172 (181)	(#####)	(#####)	37 36 (37)	(#####)		
	3.1	196 185 (192)	(#####)	(#####)	21 25 (23)	(#####)		
	6.3	182 196 (179)	(#####)	(#####)	15 15 (15)	(#####)		
	12.5	104 * 135 * (120*)	(#####)	(#####)	18 * 11 * (15*)	(#####)		
	25.0	0 * 0 * (0*)	(#####)	(#####)	0 * 0 * (0*)	(#####)		
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	131 140 141 139 144 (139)	(#####)	(#####)	30 33 30 40 30 (33)	(#####)	
		0.8	173 182 (178)	(#####)	(#####)	40 46 (43)	(#####)	
1.6		188 228 (208)	(#####)	(#####)	51 30 (41)	(#####)		
3.1		271 243 (257)	(#####)	(#####)	44 44 (44)	(#####)		
6.3		473 491 (482)	(#####)	(#####)	56 38 (52)	(#####)		
12.5		509 473 (511)	(#####)	(#####)	55 63 (59)	(#####)		
25.0 \$		60 * 53 * (57*)	(#####)	(#####)	8 * 10 * (9*)	(#####)		
陽性対照		名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA	
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80		
	コロニー数/プレート	596			348			
		600 (598)	(#####)	(#####)	421 (385)	(#####)		
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8			
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA		
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2		
	コロニー数/プレート	1136			396			
		1474 (1305)	(#####)	(#####)	355 (376)	(#####)		
	試験実施期間	2003.12.5~2003.12.8			2003.12.5~2003.12.8			

【備考】

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表40 木酢C社原液の試験結果（確認試験-1）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2 <i>uvrA</i> /pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	95 128 107 108 107 119 (111)	(#####)	(#####)	13 21 29 15 28 20 (21)	(#####)
	0.9	(#####)	(#####)	(#####)	27 27 30 (28)	(#####)
	1.3	(#####)	(#####)	(#####)	20 14 21 (18)	(#####)
	1.9	(#####)	(#####)	(#####)	25 17 22 (21)	(#####)
	2.5	957 955 (975)	(#####)	(#####)	25 25 25 (25)	(#####)
	3.8	604 541 (573)	(#####)	(#####)	26 22 24 (24)	(#####)
	5.0	746 909 (835)	(#####)	(#####)	29 23 27 (26)	(#####)
	7.5	988 902 (935)	(#####)	(#####)	16 11 11 (13)	(#####)
	10.0	237 233 (245)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	119 115 131 105 131 117 (120)	(#####)	(#####)	26 26 30 28 27 28 (28)
3.8		(#####)	(#####)	(#####)	36 31 19 (29)	(#####)
5.0		(#####)	(#####)	(#####)	32 36 38 (35)	(#####)
7.5		297 385 (323)	(#####)	(#####)	35 40 32 (36)	(#####)
10.0		459 501 (475)	(#####)	(#####)	32 35 34 (34)	(#####)
15.0		632 675 (654)	(#####)	(#####)	27 22 22 (24)	(#####)
20.0		752 723 (753)	(#####)	(#####)	19 21 21 (20)	(#####)
30.0		45 * 51 * (48*)	(#####)	(#####)	(#####)	(#####)
陽性対照	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	529 501 (515)	(#####)	(#####)	413 447 (430)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.6~2004.2.9			2004.2.10~2004.2.12	
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
	コロニー数/プレート	1366 1021 (1194)	(#####)	(#####)	284 318 (301)	(#####)
	試験実施期間	2004.2.6~2004.2.9			2004.2.10~2004.2.12	

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン

表41 木酢C社原液の試験結果（確認試験-2）

代謝活性化系の有無	被検物質の用量 (mg/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA/pKM101	TA98	TA1537
S9 mix (-)	陰性対照 (溶媒対照)	(####)	(####)	(####)	22 24 18 19 21 20 (21)	(#
	1.0	(####)	(####)	(####)	26 26 (26)	(#
	1.2	(####)	(####)	(####)	24 17 (21)	(#
	1.6	(####)	(####)	(####)	30 16 (23)	(#
	2.0	(####)	(####)	(####)	22 33 (28)	(#
	3.0	(####)	(####)	(####)	29 23 (26)	(#
	S9 mix (+)	陰性対照 (溶媒対照)	(####)	(####)	(####)	(####)
3.8		(####)	(####)	(####)	(####)	(#
5.0		(####)	(####)	(####)	(####)	(#
7.5		(####)	(####)	(####)	(####)	(#
10.0		(####)	(####)	(####)	(####)	(#
15.0		(####)	(####)	(####)	(####)	(#
20.0		(####)	(####)	(####)	(####)	(#
30.0		(48*)	(####)	(####)	(####)	(#
陽性対照	名称	AF-2	NaN ₃	AF-2	AF-2	9AA
	用量(μg/プレート)	0.01	0.5	0.005	0.1	80
	コロニー数/プレート	(####)	(####)	(####)	415 447 (431)	(#
	試験実施期間	2004.2.13~2004.2.16				
	名称	2AA	2AA	2AA	2AA	2AA
	用量(μg/プレート)	1	2	2	0.5	2
	コロニー数/プレート	(####)	(####)	(####)	(####)	(#
	試験実施期間					

[備考]

1. 菌の生育阻害が認められる場合は、該当する数値の右に*印を付した。
2. 復帰変異数は各プレートのコロニー数の実測値を記入し、()内にはその平均値を記入した。ただし(####)は未試験。
3. プレート上に沈殿物が析出した場合は、その用量に\$印を付した。
4. 被検物質の復帰変異数が該当する菌株の陰性対照の平均値の2倍以上になった場合、その数値に ■印を付した。
5. 陽性対照物質の名称、AF-2: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド、NaN₃: ナトリウム・アジド、9AA: 9-アミノアクリジン、2AA: 2-アミノアントラセン